

麻雀新聞通巻500号突破おめでとうございます!
私がこの業界に携わることになった時から

「麻雀を楽しくスムーズに覚えてもらうためにはどうすれば？」

この連載は麻雀教室の開講をお考えの営業者に、現役麻雀講師が持つスキルのすべてを大公開！連載第10回目は、「一盃」「二盃」「三盃」「七対子」について、

何度か目にしてきた麻雀新聞。記念すべき500号に記事を書いているとは夢にも思いませんでしたが、これからも末永く、600号、700号、1000号と続いていくことを心から願っております。

さて、今回は3つの役をお伝えしたいと思います。まず1つ目の

役とは、「手牌の一部が条件となる役」です。ここまで伝えた役の中で部分役だった役は、

ここで大切なことは2つ。『一盃口』は6枚で作る部分役であるということ、6枚で作る部分役は『一盃口』の他にはないということです。ですから、前述しましたが、この『一盃口』は生徒さんにとっても覚えやすい役の1つであることは間違いありません。

しかしここが問題なのです。『一盃口』がわかりやすく覚えやすい役であるだけに、この『一盃口』を伝えると『一盃口』ばかりを狙ってしまう生徒さんが多くなってしまうのです。

それを防ぐためにはどうしたらよいのでしょうか？私は、以前お伝えした『翻』を用いて

この3種類でした。『役牌』は3枚で作る部分役、『三色同順』と『一气通貫』は9枚で作る部分役だったというところをここでは復習しましょう。部分役についての理解をさら

す。ここで大切なことは2つ。『一盃口』は6枚で作る部分役であるということ、6枚で作る部分役は『一盃口』の他にはないということです。ですから、前述しましたが、この『一盃口』は生徒さんにとっても覚えやすい役の1つであることは間違いありません。

役は『一盃口』です。この『一盃口』を伝える時にもかならず図示するようにしたいですね。今までの伝え方と同様に、3種類の数牌と字牌を使い、順子と刻子共に含む牌姿をホワイトボードや黒板に並べることがまずは大切なことです。そして次のポイント、『一盃口』が部分役であるということ。部分

ここではまず正解を出さずに、打牌候補を書き出します。

4萬切りは『一盃口』で2萬待ちですね。同じ1翻なのに待ちの枚数が違う『一盃口』と『平和』。どちらを選択しますか？と生徒さんに聞けばもう答えはおのずと出るはず

です。『平和』ですよ。この例のように、『一盃口』という役は見た目以上に作るのが難しく、更には点数が安く設定されているのです。ですから、『一盃口』という役は積極的に狙って作る役ではなく、手作りの過程において頭の片隅においておく程度に留めておく方がよいのかもしれない

ね。以上のように『一盃口』の説明が終わった後、図示してある『一盃口』と雀頭の部分を

残して2つのメンツを抜き取ります。そしてその抜いた6枚の部分に、もう1つ『一盃口』を組み込んだ(手牌B)上で新たな説明に入ります。このように、『一盃口』が2組ある形が出来ること、あると思いませんか？と

ここでもう1つ生徒さんに問題を出すのです。『一盃口』は1翻でしたけど、『二盃口』は何翻でしょうか？『一盃口』は一だから1翻だよな？だったから『二盃口』は二だから2翻なのかな？と思う方も必ずいるはず

に深めるためですね。その上で、ホワイトボードや黒板に図示した『一盃口』の部分にアンダーラインなどの印をつけ、『一盃口』が部分役であることを伝えるのです。『一盃口』とは、同じ順子が2組ある形のことです。門前役で1翻の『一盃口』ですが視覚的にもわかりやすいので覚えやすい役だと思いま

です。しかし『二盃口』は3翻です。もちろんみなさんはご存知だと思いますが、ここで『美しき』についての説明が生きるのです。見た目にも美しく、作るのも難しい『二盃口』。美しいから翻数が高めに設定してあると説明すると理解が深まりますよ。やっぱり女性は美しい形が好きですから。

そしてもう1つ同時に伝える役があります。それは『七対子』です。この『七対子』の説明にはコツとポイントがあります。

何故このタイミングで伝えるのかはまた後ほど。まずは先ほど説明した『二盃口』を図示したものを思い出してください。手牌Bが2つある形の『二盃口』と呼ぶのですと説明するのは、『一盃口』の説明を丁寧にしておけば、『一盃口』が2つある形の『二盃口』

の牌姿から、7筒(または4筒)を2枚抜いて、代わりに1枚余剰牌(これは字牌が良いでしょう)を1枚加えるのです(手牌C)。4筒か7筒を引いたら『二盃口』のテンパイですよ。早く4筒か7筒が来ないかな？って思っていたら…なんと中を持ってきちゃいました。って、でもねこれも役なのですよ

この3つを提示して考えてもらうのです。3つの答えを用意しますが、ここではほとんど2つの意見に分かれます。複合するという答えと、『二盃口』を優先するという答えです。何故なら、『七対子』は2翻で、『二盃口』は3翻だから、高い方がいい！という意見ですね。答えは『二盃口』を優先する。なんです。ここで最初に、『二盃口』と『七対子』が複合しない理由から説明します。それは、『二盃口』は順子手、『七対子』は対子手だからなのです。メンツ構成の成り立ちが違うからなのです。『二盃口』を順子に分けて説明すると生徒さんもわかりやすいかもしれません。

そして『二盃口』を優先する理由。それは『高め取りの法則』ですね。麻雀は如何なる場合があっても高い方を優先するということなんです。この高め取りの法則、いろんな例や例えがありますが、それも講師の先生の力量ということ。また機会があれば詳しく説明したいと思います

この『二盃口』を優先する理由。それは『高め取りの法則』ですね。麻雀は如何なる場合があっても高い方を優先するということなんです。この高め取りの法則、いろんな例や例えがありますが、それも講師の先生の力量ということ。また機会があれば詳しく説明したいと思います

麻雀を教えるって、どうやって？



PROFILE
麻雀店経営にも携わる現役麻雀講師。麻雀プレイヤーとしての顔も持つ。その歯に衣着せぬ発言は麻雀を愛するがゆえ。

それは『七対子』がアメリカ生まれの役だからなのです。この部分については、歴史的な背景を含めて自分の言葉で説明してあげるのが良いと思います。これぞ各講師の腕の見せ所の部分となるでしょう。

そして後々説明が一番難しい『七対子』の翻数についてです。詳しく説明するのは非常に難しい『七対子』の点数の問題ですが、本当の話をこの段階でも生徒さんたちが理解出来るはずもありませんよ。ですから私は『七対子』は2翻相当と伝えるようにしています。点数計算の考え方が確立されてから普及した『七対子』ですから、ちょっと特殊な計算方法をするのですが、現時点では2翻相当だと思っていれば概ね間違いはないですよ。お伝えするのです。そしてここからが今回の山場です。ここで生徒さんに本日最後の質問をします。『二盃口』って、よく見ると『七対子』ともれと『七対子』ともれと『七対子』、この2つは複合するのでしょうか？しないのならどうするか？優先するのでしょうか？

『七対子』と『二盃口』は複合する

『七対子』と『二盃口』は複合する

『七対子』と『二盃口』は複合する

『七対子』を優先する

『二盃口』を優先する

『七対子』を優先する

『七対子』を優先する

『七対子』を優先する

『七対子』を優先する

『七対子』を優先する